

「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進」研究集会プログラム

日時：9月13日（火）～14日（水）

場所：名古屋大学環境総合館1階レクチャーホール

主催：名古屋大学宇宙地球環境研究所・同研究所附属飛翔体観測推進センター

共催：日本気象学会

後援：日本地球惑星科学連合

● 9月13日（火）

13:15 ～ 13:30 あいさつ・名大 ISEE/COSO について

高橋暢宏（名古屋大学宇宙地球環境研究所）

13:30 ～ 13:50 趣旨説明・現状報告

小池 真（東京大学大学院理学研究科）・高橋暢宏（名古屋大学宇宙地球環境研究所）

台風と防災

13:50 ～ 14:10 科研費基盤研究Sによる台風の航空機観測計画：T-PARCI
(Tropical cyclones-Pacific Asian Research Campaign for
Improvement of Intensity estimations/forecasts)

坪木和久（名古屋大学宇宙地球環境研究所）

14:10 ～ 14:30 T-PARC における台風機動観測について

山口宗彦（気象研究所台風研究部）

大気科学（1）

14:30 ～ 14:50 意図的・非意図的気象変化研究における航空機利用

村上正隆（名古屋大学宇宙地球環境研究所）・折笠成宏・田尻拓也

14:50 ～ 15:10 航空機による雲シーディングに関するモデリングと数値実験

橋本明弘（気象研究所予報研究部）・村上正隆

15:10 ~ 15:30 航空機観測によるエアロゾル・雲・降水相互作用研究

小池 真 (東京大学大学院理学研究科)・茂木信宏

15:30 ~ 15:50 休憩

新しい観測技術の展望 (1)

15:50 ~ 16:10 航空機搭載ライダーによる大気・気象観測

阿保 真 (首都大学東京システムデザイン学部)・柴田泰邦・長澤親生・
酒井 哲・内野 修

16:10 ~ 16:30 航空機搭載電子走査レーダによる雲・雨観測

堀江宏昭(情報通信研究機構電磁波研究所リモートセンシング研究室)

16:30 ~ 16:50 フェーズドアレイレーダを用いた降水観測の現状と航空機搭載
の可能性

高橋暢宏(名古屋大学宇宙地球環境研究所)

地球惑星科学諸分野との連携

16:50 ~ 17:10 地球観測における航空機 SAR の役割

浦塚清峰(情報通信研究機構電磁波研究所)

17:10 ~ 17:30 陸面一大気物質循環研究で航空機観測ができて衛星観測ができ
ないこと

鈴木力英(海洋研究開発機構)・金谷有剛・小林秀樹・永井 信

18:00 ~ 20:00 懇親会 (場所未定)

● 9月14日 (水)

大気科学 (2)

09:30 ~ 09:50 航空機を利用した大気組成観測にかかわる諸問題

青木周司(東北大学大学院理学研究科)・町田敏暢(国立環境研究)・森本真司(東北大学大学院理学研究科)、石戸谷重之(産業技術総合研究所)、松枝秀和(気象研究所)

09:50 ~ 10:10 ロシア水文気象環境監視局 (ROSHYDROMET) の航空機を用いた西シベリア・北極域の大気環境観測

今須良一(東京大学大気海洋研究所)・町田敏暢・山内 恭・末吉哲雄・青木周二・森本真司・松枝秀和・坪井一寛・澤 庸介・丹羽洋介・兼保直樹・村山昌平・金谷有剛・滝川雅之・竹谷文一・松見 豊・篠田太郎・五藤大輔・佐藤陽祐・SlavaHattatov・Mikhail Strunin・Victor Petrov・Boris Fomin

10:10 ~ 10:30 温室効果ガス観測技術衛星 GOSAT における航空機観測：観測原理実証・分光放射輝度校正・温室効果ガス濃度分布検証

久世暁彦(宇宙航空研究開発機構地球観測研究センター)

10:30 ~ 10:50 回転翼航空機を利用した北陸地方上空の過酸化水素の測定

渡辺幸一(富山県立大学工学部環境工学科)・矢地千奈津・宋笑晶・角山沙織・西部美雪・江田奈希紗

10:50 ~ 11:00 休憩

新しい観測技術の展望 (2)

11:00 ~ 11:20 機上の乱気流事故防止システムの研究開発

井之口浜木(宇宙航空研究開発機構航空技術部門 SafeAvio プロジェクトチーム)

11:20 ~ 11:40 無人航空機の研究開発動向

原田賢哉(宇宙航空研究開発機構航空技術部門)

11:40 ~ 12:00 航空機搭載降水レーダへのパルス圧縮利用の検討

花土 弘(情報通信研究機構電磁波研究所リモートセンシング研究室)

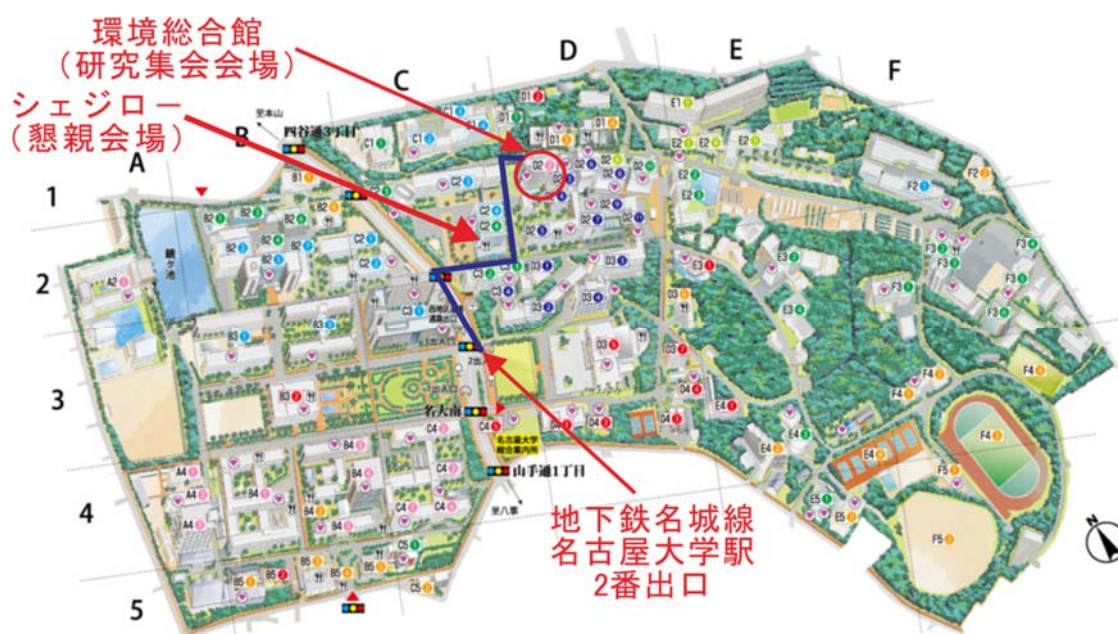
12:00 ~ 12:20 CPSゾンデを用いた雲粒子観測と航空機観測への適用可能性

篠田太郎(名古屋大学宇宙地球環境研究所)・大東忠保・坪木和久

12:20 ~ 13:00 総合討論

13:00 解散

● 研究集会・懇親会場マップ



● 発表者のみなさまへ

発表時間は一人当たり 20 分です。発表は 15 分程度として質疑の時間を 5 分程度確保していただくとありがたいです。

研究集会の後、報告書をまとめたいと思いますので、発表後に講演スライドのうち提供可能なものを篠田まで提供していただくようお願いいたします。当日、USB メモリをもった学生さんがお願いにあがると思います。

● 参加者のみなさまへ

研究集会の聴講は自由です。聴講されたい方は直接会場までお越しください。